

広島中央ロータリークラブ

2019-2020年度事業計画

【2019～2020年度 広島中央ロータリークラブ所属委員会】

■理事役員

(2019.7.1-2020.6.30)

会 長	(理事) 福田 浩	奉仕プロジェクト	(理事) 迫田 勝明
直前会長	(理事) 古澤 幸治	ロータリー財団	(理事) 児玉 哲郎
会長エレクト	(理事) 竹川 誠一	クラブ広報	(理事) 淀江晃太郎
副会長兼会員組織	(理事) 山野井秀樹	クラブ管理運営	(理事) 大田 由孝
幹 事	(理事) 宗正 俊文	会 計	(理事) 澁谷 紀子
副幹事	粟井 孝二	S.A.A.	(役員) 上田 恵
副幹事	三宅 朗充		

■会員組織委員会

理事・委員長 山野井秀樹

* = 兼務

	委員長	副委員長	委員			
会員増強・職業分類	福田 浩*	緒方俊平	田原榮一	橋本 満	村本憲康	柳川寿子*
			田中純子	西井裕昭*		
ロータリー情報(研修リーダー)	鳥井均城	砂田恭延	赤羽克秀	吉川修平	土肥博雄	戸田幹雄

■奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 迫田勝明

	委員長	副委員長	委員			
職業奉仕	大坂隆志	大久保雅通	浜田逸郎	芥川 宏*	田中純子*	松村公市
人間尊重・社会奉仕	嶋本文雄	大井太郎	熊野 巧	頼岡徳在	松村公市*	
国際奉仕	七枝敏洋	吉清有三	徳見泰司*	平松恵一	城本健司*	安藤徹哉*
青少年奉仕	山本昌弘	木下三枝子	藤村欣吾	村上恒二*	山肩俊晴	西川公一郎*
ローターアクト委員会	下原千夏	吉川 恵	吉清有三*	古澤宰治*	黒瀬真一郎	嶋本文雄*
			三宅朗充*			

■ロータリー財団委員会

理事・委員長 児玉哲郎

	委員長	副委員長	委員			
ロータリー財団・米山奨学	長場 誠	安藤徹哉	杉本嘉朗	出崎邦彦	吉川修平*	椿 和央*

■クラブ広報委員会

理事・委員長 淀江晃太郎

	委員長	副委員長	委員			
クラブ会報・資料保存	政岡誠二	芥川 宏	砂田恭延*	長場 誠*	三宅朗充*	岡田 茂
広報	好永裕一	大内総一郎	金井征男	通谷 章	上原悠爾	粟井孝二*
IT	城本健司	小佐古哲哉	神保 紘	古澤宰治*	土谷治子	政岡誠二*

■クラブ管理運営委員会

理事・委員長 大田由孝

	委員長	副委員長	委員			
出席	新宮且識	榎崎哲也	城川大二郎	柳川寿子	好永裕一*	池田繁実*
親睦	西川 済	平瀬春男	大坂隆志*	大内総一郎*	新宮且識*	粟井孝二*
			七枝敏洋*	大井太郎*	安藤徹哉*	政岡誠二*
			西川公一郎	小林正夫		
プログラム	西井裕昭	村上恒二	原田啓吾	河野 隆	戸田幹雄*	池田繁実
S. A. A.	上田 恵	椿 和央	大久保雅通*	木下三枝子*	大井太郎*	西川 済*
			平瀬春男*			
会計	澁谷紀子	徳見泰司	神田栄治	長場 誠*	好永裕一*	下原千夏*

特別委員会

	委員長	副委員長	委員			
国際交流基金特別委員会	福田 浩	宗正俊文	吉清有三	迫田勝明	城本健司	澁谷紀子
			七枝敏洋			
戦略計画委員会	吉川 恵	吉川修平	田原榮一	赤羽克秀		
がん予防啓発推進委員会	椿 和央	土肥博雄	赤羽克秀	藤村欣吾	平松恵一	吉川 恵
		山肩俊晴	土谷治子			

○会計監査委員 河野 隆

○合同事務局運営委員 宗正俊文

会員組織委員会

理事・委員長 山野井 秀樹



1. 方針

会長方針の「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」本年度会員組織委員会として、たくさんの笑顔に出会える為にも目標を掲げて新会員の拡大に力を注いでいきます。

また広島中央RC会員に対してクラブ広報委員会と連携し有益となるロータリー情報発信を実践する。

2. 計画

- ①純増3名以上を目標に掲げ会員拡大に取り組む。
- ②ファイヤーサイドミーティング、クラブ研修セミナーを実施し、新会員ロータリーの理解を深める。
- ③会員に対してロータリー情報の発信を実践する。

会員増強・職業分類

委員長 福田 浩



1. 方針

当会の会員数は、2015-16年度までは純増しましたが、その後、頭打ちし、減少する傾向にあります。いうまでもなく、会員こそがクラブの基盤であり、クラブのさらなる発展と、充実した奉仕活動を行うためには、安定したクラブ運営を行える会員数を維持し、延ばしていくことが肝要です。

2. 計画

次々年度末に85人体制を目指すために、次年度末には80人を超えることを目標として、委員長自らが積極的に取り組むとともに、会員の皆さまおひとりおひとりが、「よし、誰々に声を掛けしてみよう、誰々を誘ってみよう」などと行動に結び付けていただける雰囲気づくりに力を入れる。

3. 予算 50,000円

ロータリー情報

委員長 鳥井 均城



1. 方針

会長方針である「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」を踏まえ、新会員の方々へは、わかりやすい情報提供をし、入会3年未満の方々へは、ロータリーへの興味と理解を深めて

頂けるよう、戦略計画委員会と協力し各種の活動を行います。

2. 計画

- ①入会予定者への訪問、推薦者とともに訪問しロータリーに興味を持って頂き、入会にあたり不安を払拭できるようにインフォメーションを実施します。
- ②新入会員入会後にファイアー・サイド・ミーティングを実施し、ロータリーの基礎知識を学び、クラブの雰囲気にも早く馴染んで頂けるよう、気軽に話し合えるミーティングを実施します。
- ③戦略計画委員会と連携し、入会3年未満の会員の方々を対象にクラブ研修セミナーを年2回開催します。ロータリーに関する興味と知識を深めてもらえるようなテーマを取り上げ、また会員同士の親睦・交流を深められるような研修を企画します。
- ④RIの情報を例会の中で報告・紹介しHPにも掲載するようにします。

3. 予算 50,000円

奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 迫田 勝明



1. 方針

ロータリーの中核的価値観を形成するのは、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。

広島中央ロータリークラブの伝統に基づき、会員全員で、高潔さを保ちながら、多様な奉仕活動を展開し、人々との親睦を深め、笑顔に出会いたいと考えます。

2. 計画

- ①職業奉仕委員会では、有意義な職場訪問例会を設定し、優良従業員の表彰を計画します。
また、例会で4つのテストを唱和し、会員の志気を高め、会員の健康診断の斡旋も行いたいと考えます。
- ②人間尊重・社会奉仕委員会では、6月に決定する地区補助金を考慮して障害者支援などの社会奉仕活動を推進したいと考えます。献血・マイカー乗るまっデー運動では、これまで10年続いたマイカー乗るまっデー運動をノンプラ運動などに変更するかなど、検討します。
- ③国際奉仕委員会では、古切手収集などの活動を続け、7月に来広予定のサンタローザの学生に、平和学習サポート、広島の豪雨災害地域の訪問などを検討します。
- ④青少年奉仕委員会では、本年度広島で開催予定のRYLA地区大会の運営について委員会を設け、積極的に活動する予定です。
- ⑤ローターアクト委員会では、ローターアクトの活動に広島中央ロータリークラブとして全員で、活動を支援していく予定です。

職業奉仕

委員長 大坂 隆志



1. 方針

職業奉仕の土台となります、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。改めて会員それぞれの職業奉仕の考え方や取り組みを知り学び発信し、会員同士のつながりをより一層深めたいと考え、会長方針にあります「たくさん笑顔に出会えるクラブづくり」のテーマに基づいた取り組みを行います。

2. 計画

- ①職業や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針として「四つのテスト」「ロータリアンの行動規範」を、毎月例会において唱和します。
- ②職業奉仕月間に、職業奉仕の理解を深めるために、効果的な勉強会と職場訪問例会を実施します。
- ③プログラム委員会と連携し、職業スキルの向上に務めるよう会員卓話の実施を図ります。
- ④職業奉仕の原点でもあります、健康保持のため健康診断の斡旋を行います。
- ⑤会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集・表彰を行います。

3. 予算

一般会計 100,000円
ニコニコ会計 120,000円

人間尊重・社会奉仕

委員長 嶋本 文雄



1. 方針

例年のごとく、今まで継続してきた人間尊敬・社会奉仕をさらに会長方針の「たくさん笑顔に出会えるクラブづくり」が反映できるよりレベルの高い活動にしていきたいと思えます。ロータリークラブに在籍する価値は、多くの会員が今まで社会から受けた感謝の気持ちを少しでも社会に還元することであり、一人ではできない活動を多くの尊敬できるロータリーの仲間といっしょにロータリアンそれぞれの専門性を生かして、すぐれた奉仕活動を行いたいと思えます。

2. 計画

- ①地区補助金を活用し、広島県立広島中央特別支援学校に、

補助申請額600,000円 クラブ資金300,000円、合計900,000円で学校の希望品を贈呈し、交流を深める計画を進めます。

- ②日赤の献血活動を会員、その従業員さらに市内7大学の学生さんたちと協力して行う。
- ③献血活動と同時にマイカー乗るまあデーのキャンペーンを行い、市民に地球環境についてこのキャンペーンの重要性を理解していただく運動をします。
- ④平和式典の参加者に対する冷たいお茶などの休憩のサービスを提供。
- ⑤会員全員がエコドリーム運動をさらに継続しておこない、その重要性を社会伝える。
- ⑥被ばく広島で平和学習を支援している人たちへの支援。

3. 予算 1,600,000円

国際奉仕

委員長 七枝 敏洋



1. 方針

広島中央ロータリークラブの会員の保有する専門性を活かした活動により、国際社会に、健康、教育、青少年育成、交流の促進に関する貢献を行い、平和な社会づくりに寄与することを基本方針とします。

広島中央ロータリークラブが従来から取り組んでいる国際奉仕活動の継続と、他クラブや団体との連携事業の実施に向け検討します。

2. 計画

- ①古切手、書き損じはがき等の収集の継続
発展途上国の女性や子供たちを支援する国際奉仕活動を行います。
- ②加州サンタローザ市のサンタローザ・サンライズロータリークラブの青少年交流支援を行います。
- ③姉妹クラブ、他クラブとの交流・連携
台中西区ロータリークラブとの交流ならびに他のクラブと連携した奉仕事業を検討します。
- ④災害など緊急支援を擁する事案に協力します。

3. 予算 700,000円

予算内訳

- (1)サンタローザ鹿児島学生交換プログラム(SRKSEP)への平和学習機会等交流支援、交換学生等の復旧支援に関する視察プログラム等
- (2)台中市西区RCとの交流、国際ロータリー関連諸費用
- (3)他クラブとの連携事業
- (4)その他、緊急時案への対応

青少年奉仕

委員長 山本 昌弘



1. 方針

会長方針である「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」を認識し、ロータリー青少年指導養成プログラム(RYLA)を学び、会員・青少年・ローターアクトクラブと共に連携を図り活動していきます。関わるみんなが楽しく奉仕活動を行い、より良い地域社会への一助となるよう目指します。

2. 計画

- ①2010年から継続しています「献血支援活動、マイカー乗るまあデーPR活動」を、更に皆さんとの縁を大切に、会員・大学生・会員家族・従業員・ローターアクト会員と共に協力して行います。
- ②ローターアクトクラブ例会・RYLAに参加し、青少年奉仕について効果的な活動を検討します。

3. 予算

一般会計 100,000円
ニコニコ会計 200,000円

ローターアクト

委員長 下原 千夏



1. 方針

今年3年目を迎える広島中央ローターアクトクラブにおいては、課題も種々ございますが、会長方針である「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」に基づき、他のローターアクトクラブとの交流を図り、活動を通じたチームワークの構築と、個々の会員の人間的な成長や喜びが得られ、会員とそこに関わる人たちが笑顔になる場を作りたいと思います。

2. 計画

- ・会員増強に努めます。
- ・ローターアクトクラブの活動状況について、報告する機会を作ります。
- ・ローターアクトクラブの会員が、アクトクラブの例会及びその他の活動に主体的に関われるように、支援して行きます。

3. 予算

一般会計 1,000,000円

ロータリー財団委員会

理事・委員長 児玉 哲郎



1. 方針

会長方針である「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」を念頭において、ロータリー財団の設立目的である「世界でよいことをしよう」を実践するためにロータリー財団に対する会員の理解を深め、協力をお願いする。

また、米山奨学生を支援し、日本とアジアをはじめ諸外国との架け橋となる人材育成に貢献する。

2. 計画

- (1)財団月間、米山月間に卓話の時間を利用し、ロータリー財団や米山記念奨学会に対する理解を深める事例紹介を行う。
- (2)ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付目標を達成する。
- (3)奉仕プロジェクト委員会と協力し、次期地区補助金事業を計画立案する。

ロータリー財団・米山奨学

委員長 長場 誠



1. 方針

(ア)会長方針である「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」を念頭において活動する。

(イ)①「世界でよいことをしよう」という目的をもって設立されたロータリー財団、及び、②母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生の援助を目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めてもらう。

2. 計画

- (ア) 寄付目標
 - a 年次寄付150ドル/人
 - b ベネファクター1人/クラブ
 - c ポリオプラス35ドル/人(クラブで年間約30万円)
 - d 米山基金16,000円/人(半期で8,000円寄付)
- (イ) 定例会の委員会報告
 - a ロータリー財団及び米山記念奨学会の情報を提供する。
ロータリー財団については、ポリオプラスをはじめ世界でよいことをしている事例を紹介する。また、グローバル補助金の獲得に向けて、実際に補助金を獲得した他クラブの活動事例を報告する。
 - b ロータリー財団室News、ハイライト米山を配布する。
 - c 愛のコイン箱のお願い
- (ウ) 米山月間(10月7日)
 - a 2019-20年度、エリザベト音楽大学のピタス

ジョセフ ジョン君の卓話を行う。また、直近の米山記念奨学会の情報を提供する。

- b 米山功労者の募集。
- (エ) ローターリー財団月間(11月11日)
 - a ポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェロー認証促進運動を実施する。
5名を目標に協力要請を行う。
 - b 財団の説明に関する卓話を行う。本年度は11月と5月頃の2回を予定している。
- (オ) 地区補助金
広島県立広島中央特別支援学校、高等部への学業支援事業と、次年度からの地区補助金対象事業の立案について、奉仕プロジェクト委員会をサポートするとともに、地区補助金の給付を受ける。

3. 予算

一般会計 50,000円
ニコニコ会計 318,000円

クラブ広報委員会

理事・委員長 淀江 晃太郎



1. 方針

会長方針である「たくさんの笑顔に会えるクラブづくり」を踏まえ、事務局や各委員会と連携して、会員の皆様に喜んでいただける会報誌やHPの作成し、広島中央ロータリークラブの活動状況をクラブ内外に発信していく。

クラブ広報委員会内での資料を整理して次期への申し送りができるようにしていく。

2. 計画

理事としては「ロータリーの友」において興味深い内容を中心に在校クラブの掲載記事などを毎月委員会報告で紹介する。

・クラブ会報・資料保存委員会

会長コラム、ロータリーアクトクラブのコーナーを開設し、限られた紙面内で会員の皆様に楽しんでいただけるような内容をタイムリーに発信していく。

そのためには事務局や他の委員会と連携して卓話等の原稿を早めに入手して発行できるように作業のワークフローを作成する。

・広報委員会

記者クラブへの投げ込みは精度の高い内容でないと採用されないため、現行通り関係のある記者と連携して情報を発信していく。

そのためには会長、幹事、理事、委員長で担当記者の方に挨拶して関係を維持していく。

・IT委員会

クラブ会報。資料保存委員会と連携して、HPの更新をリアルタイムに行っていく。

また、現HPのサーバーはただの物入れ状態になっているので、これを今後どのように管理していくか新たなプラットフォームの導入も含め検討していく。

さらに引き続きマイロータリーへの登録・利用促進を図る。

クラブ会報・資料保存

委員長 政岡 誠二



1. 方針

会長方針である「たくさんの笑顔に会えるクラブづくり」を踏まえ、クラブの活動及びロータリークラブの諸活動について、委員会のメンバー全員参加でクラブの内外に情報発信していきます。

会員の皆様に読みやすく楽しんでいただくをモットーに会報を作成し、クラブ内外に発信していきます。

2. 計画

会報誌冊子の仕様は昨年通りとし、表紙は当該月の代表的な写真やロンガルス同好会のメンバーの作品を掲載します。また該当月のプログラムに因んだ会長コラム、広島中央ロータリーアクトクラブの活動報告は昨年度に引き続き掲載します。

限られた紙面内で工夫をしながら、会員の皆様にタイムリーな情報を伝える、また楽しんでいただけるような内容にするべく、他委員会との連携も図りながら原稿を入手し期日までに発刊できるようにしていきます。写真撮影の業務はクラブ広報委員会のメンバーで連携して滞りなく行います。

3. 予算 2,150,000円

広 報

委員長 好永 裕一



1. 方針

会長方針である「たくさんの笑顔に会えるクラブづくり」を踏まえ、本年度予定されている当クラブの活動内容を各委員会と連携して情報を内外に発信し、当クラブの認知度向上を図る。

2. 計画

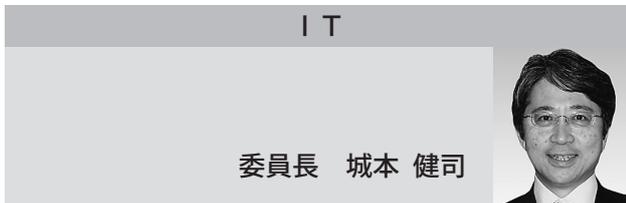
①本年度予定されている奉仕活動等の諸活動(特別支援学校への寄贈、8月6日のおもてなし、マイカー乗るまあデーPR活動・献血支援活動等)について、各委員会と連携し早めの正確な情報収集を行う。

②マスメディアが取り上げやすい内容、タイミングを図る。

③中国新聞等の地元メディアに取材してもらうよう、積極的に

働きかけていく。

3. 予算 50,000円



1. 方針

福田会長の方針の「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」に沿うように、会員相互間の好意と友情が育まれ、外部から閲覧される方々も笑顔になっていただけるHP作りに努めて参ります。

2. 計画

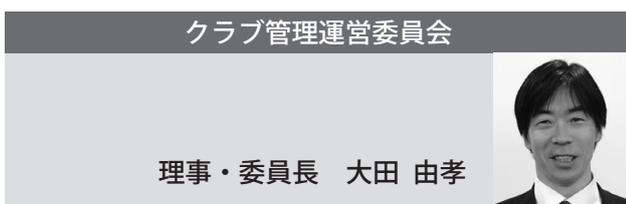
クラブ会報・資料保存委員会と連携して、当クラブの様々な活動を当クラブのHPにタイムリーにアップしていき情報発信していくとともに、資料保存を行っていきます。

MY ROTARYへの登録・利用を促進すると共に、「ロータリーの友」電子版の普及に努め

MY ROTARYや「ロータリーの友」電子版を利用して、国際ロータリーの活動をクラブ内にも広めていきます。

3. 予算

HPの維持管理費等：1,000,000円



1. 方針

今年度国際ロータリー会長のマーク・ダニエル・マローニー氏はテーマとして「ロータリーは世界をつなぐ」と掲げられています。ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりを大切にして人類の素晴らしい多様性をつなぐ、共通の目的において未永く続く深い絆を創り出そうと仰っています。

また、晝田ガバナーは「ロータリーの未来を語り、礎を築こう」と掲げられ、会員基板の強化、地区補助金の積極的活用推進、青少年プログラムの実施の運営表明をされています。

その方針を受け福田会長は「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」を会長方針とされました。この方針に基づき我々、クラブ管理運営委員会では活動を行って参りたいと思います。たくさんの笑顔あるクラブを作るには我々の大切な活動である例会や親睦をどう運営していく事ができるかを考えていかなければなりません。その大きな役目を我々、クラブ管理運

営委員会が運営をしていきます。一年間を通してたくさんの笑顔を見られるよう、まずは委員会が結束し楽しみながら活動をし笑顔を広げ、そして中央ロータリークラブの会員が楽しい年度だったと想えるよう活動をしていきたいと思ひます。

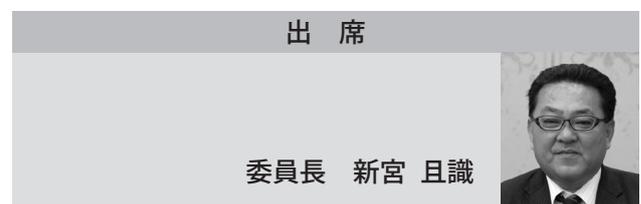
2. 計画

出席委員会は、会員の出欠席に心配りをし100%出席ができるように取り組む。

親睦委員会は、クラブ活動が楽しく笑顔溢れる空間になるように取り組む。

プログラム委員会は、会員が興味深く笑顔が出るようなプログラムを企画する。

S A Aはビジターが笑顔で帰って行かれるように接遇と笑顔溢れる例会になるように取り組んでいく。



1. 方針

会長方針「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」に基づき、会員の皆さんが楽しく例会に参加できるよう、S A A・親睦の皆さんと連携しながら取り組んでいきます。

又、毎週の出席報告は、委員全員で連携を取りながら進めていきます。

やむを得ず例会を欠席された方には、メイキャップ等の案内の連絡を取らせていただきたいと思います。

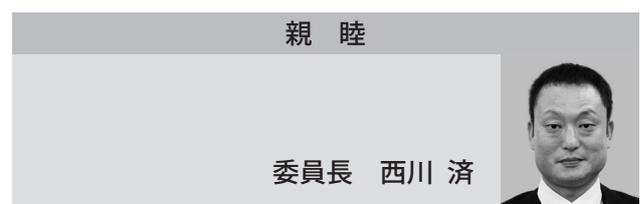
2. 計画

例会での出席報告を速やかに行えるように、委員間での連携を取りたいと思ひます。

月末の例会時の出席報告の際には、翌月の行事の案内も行いたいと思ひます。

例会を欠席された会員の方には、メイキャップの案内と共に、eクラブの案内もしたいと思ひます。

3. 予算 200,000円



1. 方針

会長方針である「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」に基づき、クラブ活動が楽しく笑顔溢れる空間になるように取り組んでまいります。

会員同士の親睦を今まで以上深めるために、親睦会・家族

会・新入会員歓迎会の運営に尽力してまいります。

一年間を通してたくさんの笑顔に出会えるように、親睦委員会で積極的に活動していきたいと思っております。

2. 計画

- ① 7月27日 土曜日 夜間家族例会
(花火大会) グランドプリンスホテル広島
 - ② 8月 6日 火曜日 親睦家族会
(カーブ観戦) マツダZoom Zoomスタジアム
 - ③ 9月30日 月曜日 夜間例会
(広島東南RC・広島城南RC・広島中央RC合同例会)
リーガロイヤルホテル広島
 - ④ 11月25日 月曜日 夜間例会
(創立41周年記念例会) グランドプリンスホテル広島
 - ⑤ 12月23日 月曜日 夜間家族例会
(クリスマス会) グランドプリンスホテル広島
 - ⑥ 6月29日 月曜日 最終夜間例会
(点鐘引継) 半べえ
- ※新入会員歓迎会 随時開催

3. 予算

- ※夜間例会・家族会等補助 360万円
※会員記念日費用 80万円

プログラム

委員長 西井 裕昭



1. 方針

会長方針「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」に基づき、会員にとって有意義な例会プログラムを実施します。また、会員相互の理解が深まるように工夫を行ってまいります。

2. 計画

経済、スポーツ、行政、文化、芸術など各方面からの卓話に加え同じロータリーの会員である他クラブの仲間にも目を向け様々プログラムを実践し縁から広がりができるように実践していきます。そして、ロータリー特別月間も意識しながらプログラムを計画します。また、会員によるリレー卓話も引き続き実践をしていきたいと思っております。

3. 予算 400,000円

S.A.A.

委員長 上田 恵



1. 方針

会長方針「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」に基づき、会員の皆さんに楽しんでいただける例会づくり、例会運営を行ってまいります。

今以上に、皆さんが広島中央RCを好きになり、好意と友情を深める場になるよう努めます。

2. 計画

- ①例会でのゲスト来客の方へのおもてなしを親睦委員会と協力対応していきます。
- ②会員相互の親睦の場としての例会を心がけます。
- ③ニコニコ箱が例会運営において、いかに大きな役割を果たしているかを理解していただき、会員の皆様が進んで投稿し易い環境を作ります。
- ④執行部や他の委員会と連携し協働して進めてまいります。

3. 予算 100,000円

会計

委員長 澁谷 紀子



1. 方針

予算編成の段階から会長・幹事・各理事との連携を図り、不測の事態にも柔軟に対応出来るような計画を立てていきたいと思っております。

また、会計委員会の委員全員で情報を共有していきます。

2. 計画

各委員長には、2017-18・2018-19年度の決算報告書を参考に予算を立てて頂き、各理事と共に事業計画に基づいた予算が組まれているか確認して、予算に沿った円滑な運営に努めたいと思っております。

国際交流基金特別委員会

委員長 福田 浩



1. 方針

当委員会は、昭和63年、広く国際交流への援助を行うことを目的に創設された広島中央ロータリークラブ国際交流基金の具体的運営を行うために設立されたものであり、当委員会の決定を理事会が承認したとき、国際交流への援助を行う目的のため、拠出金の基金への受入れ及び果実の出金をすることが出来るものとされています。

これまで、基金は1,000万円まで増額されたものの、その果実たる預金利息は僅少であるため、「広く国際交流への援助

を行う」という基金設立の目的に合う活動が充分に行えていないという構造的な問題があります。次年度も、繰り越される果実残高は13万円余りであり、具体的な援助活動の計画が立てられない状況にあります。

そこで、次年度は、まずは、会員全員で、「広く国際交流への援助を行う」という基金設立の目的に合う「具体的活動」について、勉強し、意見を交換し合う機会を設けてゆきたいと考えています。

2. 計画

国際交流に関する卓話を検討し、これをきっかけとして、基金設立の目的に合う「具体的活動」について、会員全体で討議する機会を設ける。

3. 予算 0円

戦略計画委員会

委員長 吉川 恵



1. 方針

会長が掲げられている「たくさんの笑顔に出会えるクラブづくり」へチャレンジする。

そのため、中長期視点に立った活動や事業を推進してゆく。

2. 計画

- ①奉仕プロジェクト委員会と協働により
 - (1)広島中央ローターアクトクラブの支援
 - (2)広島県立広島中央特別支援学校の地区補助金利用事業の支援
 - (3)マイカー乗るまあデー・献血支援活動の充実のための支援
 - (4)グローバル補助金獲得のための支援活動
- ②会員組織委員会との協働により
 - (1)3年未満会員への研修セミナーの開催
 - (2)新入会員へのファイアーサイドミーティングの開催
- ③がん予防啓発推進委員会との協働
 - (1)がん予防啓発活動の支援

3. 予算 100,000円

がん予防啓発推進委員会

委員長 椿 和央



1. 方針

2人に一人が癌に罹患し、3人に一人が癌で死亡する現在、今まで培ってきた当クラブのがん予防啓発事業を継続し、さら

に発展させ、深化するように活動を行う。今後が期待される若い世代にがん予防を正しく理解していただき、その重要性を考える機会を提供する。がん予防推進の啓蒙活動をさらに拡大する。

2. 計画

- ①がん予防「新12か条」を例会で確認、ポスターを制作し、会社、事業所、医院等に配布し、常にごがん予防を考える機会にする。個人的にも名刺大のものを携帯してもらう。
- ②若い方へ「がん予防」の意識をもってもらい、その重要性を理解していただく。現在行っている高校、大学、他のクラブ、会社への出前講義を積極的に行う。
- ③第5回がん予防啓発推進アンケートを次年度も郵送方式で行い、今まで行ってきたアンケートとの比較を行う。
- ④がん予防月間(12月)にごがん予防に関連した卓話をお願いする。
- ⑤がん拠点病院で主催される市民講座の開催ポスターをロータリー関連会社、企業に配布し、可能であれば聴講していただく。

3. 予算 100,000円

(内訳)

郵送費 20,000円 ポスター等制作 50,000円
資料制作等 30,000円